このPDFは以下の書籍から第18課（p.98 - p.100）を抜粋したものです。
古閑恭子，サミュエル・アンポンサー. 2009. Let's study Akan! = Ma yẹnsũã Twii! 府中: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

ILCAA
Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa

Wopɛ sɛ wokyea nana?

★ sɛ 節

🔈 2-69

Kofi:	Ahá né áhinfíẹ́.
	ここが首長の家だよ。
Mari:	Wódwéǹ sɛ́ naná wɔ hɔ́?
	首長はいると思う？
Kofi:	Ɛyɛ́ me sɛ́ ɔwɔ hɔ́.
	いるようだけど。
	Naánsó minním sɛ́ ɔwɔ hɔ́ ampáa.
	でも本当にいるかは分からないな。
	Sɛ ɔwɔ hɔ́ a wópɛ sɛ́ wókyeá naná?
	いたら、首長にあいさつしたい？
Mari:	Ááné, mepɛ sɛ́ mekyeá naná.
	ええ、首長にあいさつしたいわ。
Kofi:	Nkyeá deɛ wúbẹ́ꜜtúmí áꜜkyéá nó.
	あいさつはできるよ。
	Naánsó yɛmmá ꜜkwán sɛ́ wóbɛ́kása naná hɔ̃́.
	でも、首長に直接話してはだめだよ。
	Ɛwɔ sɛ́ wókasá fá ɔkyeáꜜmé so.
	オチアメを通して話さないと。

🔈 2-70

né　…である（性質、内容の一致）
ahinfíẹ́　宮殿
dwén　思う
naná　首長
ɛyɛ́ me sɛ́　…なようだ
naánsó　でも
ǹním sɛ́　…か分からない
ampá　本当に
sɛ … a　もし…ならば
pɛ sɛ́　…したい
kyea　あいさつする
nkyeá　あいさつ
deɛ　…に関しては
ma …kwán　許す
kasa …hɔ̃́　…に話しかける
ɛwɔ sɛ́　…でなければならない
fa …só　…を通して
ɔkyeáꜜméé　オチアメ

● sɛ 節

sɛ́ は節を作ります。sɛ́の声調は H です。sɛ節を伴う役に立つ表現を覚えましょう。

Mepɛ sɛ́ mekɔ́ tiafí.	トイレに行きたいです。	2-71
Ɔkãã sɛ́ ɔbɛ́bá.	彼は来ると言いました。	
Ɛyɛ́ me sɛ́ ọnní hɔ́.	彼はいないようです。	
Minim sɛ́ ɔbɛ́yɛ́.	彼女はやると思います。	
Ɛsɛ sɛ́ wókɔ́ ꜜhɔ́.	あなたはそこに行かなければなりません。	
Megyé dí sɛ́ ɛ́ɛ dɛ.	それはおいしいと思います。	
Ẹhĩã́ sɛ́ wóbɛ́kɔ́.	あなたが行くべきです。	
Ɛyɛ́ sɛ́ m'ɛ́kɔ́.	行かなくては。	
M'aní áꜜgyé sɛ́ m'ahyíá wó.	お会いできてうれしいです。	

Nhwɛsoɔ アカン語で言ってみましょう。（解答は次ページ）

1. 私はパンを買いたいです。
2. 彼は車を売りたいです。
3. 彼はアカン語が分からないようです。
4. 私はあなたとアカン語で話をしたいです。
5. 彼はお酒をのまないと言いました。
6. アマはその人を知らないようです。
7. 本はそこにあると思います。
8. 私は彼女がやったかわかりません。
9. アサンテ王がここに来ると聞きました。
10. 私は食器を洗わなければなりません。

Nhwɛsoɔ　解答　　2-72

1. Mepɛ sɛ́ metɔ́ páanoó.
2. Ɔpɛ sɛ́ ɔtɔ́ǹ ne káa.
3. Ɛyɛ́ me sɛ́ ɔnté Twíi.
4. Mepɛ sɛ́ me né wo kã́ Twíi.
5. Ɔkãã sɛ́ ɔnnóm ńꜜsã́.
6. Ɛyɛ́ me sɛ́ Áꜜmá ǹním nipá nó.
7. Megyé dí sɛ́ nwómá nó wɔ hɔ́.
8. Minním sɛ́ ɔyɛe.
9. M'até sɛ́ Asantehéné bɛ́bá há.
10. Ɛsɛ sɛ́ mehohóró nkúkúọ nó mú.

首長

首長（ɔhene）は、町や村で最も尊敬される存在です。首長には直接話しかけてはならず、仲介人（ɔkyeame）を通さなければなりません。

もともと首長はその土地のことばでしか話してはいけないのですが、英語が教養の証と見なされる昨今、英語で話す首長も現れています。

首長は世襲制で、母系社会のアカン族では、首長の姉か妹の息子が後継ぎとなります。しかし、継承権があっても、いろいろと面倒なしきたりを守らなければならない首長には、なりたがらない若者も多いようです。